

## 令和5年度 学校評議員による学校評価

### 1. 【本校の教育目標】

学校は教育方針をわかりやすく伝えている。

[詳細](#)

● 1 十分	4
● 2 やや十分	0
● 3 やや不十分	0
● 4 不十分	0



### 2. 【本校の教育目標】

1の設問について感想・意見等があればご記入ください。

- ・学校要覧やパワポ資料などを活用していたため、十分に理解できました。保護者や教職員評価でも高い数値であるため、浸透していると思います。今後、教育目標は「誰のためなのか、何のためなのか」をよく吟味し、今以上の「視せ方」になることを期待しています。

### 3. 【本校の教育実践】

学校は教育課題について適切に取り組んでいる。

[詳細](#)

● 1 十分	3
● 2 やや十分	1
● 3 やや不十分	0
● 4 不十分	0



### 4. 【本校の教育実践】

3の設問について感想・意見等があればご記入ください。

- ・本質問に関連する自己評価、外部アンケート（保護者）への設問が、「〇〇計画が適切に設定・作成されているか？」となっていて、実践内容、成果等に係るものが確認できませんでしたが、当該設問への回答に実践等の評価も含んでいると考えて回答しました。また、評議員会での教育活動の実践紹介からも学校教育目標のもと、職員が真摯に取り組んでいる様子が感じられます。
- ・はなさきの魅力として「コーポレーションタイム」の必要性を感じた。将来、子ども達が社会に出ると、同学年の過ごすことは少ないと思います。そのため、児童期から異年齢の交流経験をする中で、新たな発見や課題などを見出すことができるかもしれません。可能な範囲で継続してほしいです。

### 5. 【本校の健康・安全】

学校は健康・安全教育に取り組んでいる。

[詳細](#)

● 1 十分	4
● 2 やや十分	0
● 3 やや不十分	0
● 4 不十分	0



### 6. 【本校の健康・安全】

5 の設問について感想・意見等があればご記入ください。

- ・保健室活用や保健、給食指導なども適切に行われている印象を受けます。（アレルギー食含む）嚥下機能や摂食行為などに個人差はあると思いますが、必要に応じて正しい介助方法の伝達をお願いいたします。

### 7. 【本校の教育環境】

学校は校舎内外の教育環境の整備に努めている。

[詳細](#)

● 1 十分	1
● 2 やや十分	2
● 3 やや不十分	1
● 4 不十分	0



### 8. 【本校の教育環境】

7 の設問について感想・意見等があればご記入ください。

- ・校内での教室確保の工夫を行ったり、隣接校との調整等を重ねたりと学校としては、課題解決に向け努力されていることは十分理解できます。諸課題の解決に向け、今後も頑張ってください。
- ・校内の見学を通して、維持管理が徹底されているのだらうと思いました。子ども達は予期せぬ行動を起こすかもしれません。そのため、危険度が高い箇所は、最優先に改善してほしいと思います。
- ・施設・設備の課題については、学校単独で解決は困難、県レベルでの取り組みが不可欠である。

### 9. 【本校の進路指導】

学校は適切な進路指導に取り組んでいる。

[詳細](#)

● 1 十分	3
● 2 やや十分	1
● 3 やや不十分	0
● 4 不十分	0



### 10. 【本校の進路指導】

9 の設問について感想・意見等があればご記入ください。

- ・内部評価、外部アンケートの評価のとおり、現場実習や進路に係る具体的な学習は充実していると思います。それだけでなく、身につけさせたい力を明確に打ち出した学校教育目標に沿って、学部間の協働学習をはじめ、諸教育活動に取り組んでいるため、学校全体のキャリア教育の充実につながっていると思います。
- ・前年度のデータをもとに説明して頂いたため理解できました。また、保護者や相談支援専門員さんからも、先生たちの取り組みに感謝している。声を聴くことがあるため、本当に尽力されていると思います。ありがとうございます！！

### 11. 【本校の地域との連携】

学校は地域と連携し、特別支援教育のセンター的役割を果たしている。

[詳細](#)

● 1 十分	4
● 2 やや十分	0
● 3 やや不十分	0
● 4 不十分	0



### 12. 【本校の地域との連携】

11 の設問について感想・意見等があればご記入ください。

- ・「地域連携」というと、地域の人材活用や地域との交流等のイメージもありますが、「センター的機能」のみについての評価として、自己評価の結果と前回評議員会で報告された地域支援の相談件数から回答しました。今後も、地域の特別支援教育及び就学に係る理解啓発に努められてください。
- ・役割や機能の説明、実績などもありよく理解できました。SSW がさらに普及すること、或いは専門職枠として新たに創設することで、教職員の業務分掌に繋がると良いです。

13. 【本校の教育相談について】

必要に応じて職員が連携して教育相談、就学相談等に取り組んでいる。

[詳細](#)

● 1 十分	3
● 2 やや十分	1
● 3 やや不十分	0
● 4 不十分	0



14. 【本校の教育相談について】

13 の設問について感想・意見等があればご記入ください。

- ・教育相談に係る職員連携の実情については承知していませんが、自己評価より、医療的ケアの関するコーディネータ、養護教諭による支援や学部を超えたプレゼント作成の依頼等、職員間の連携の例が示されており、一定程度、相互支援の風土が醸成されていると感じます。
- ・保護者のみなさんの回答をみると、先生たちが寄り添って対応しているのだと感じました。誰にも相談できない方が居た場合、先生たちの存在が、安心・信頼・安定に繋がると思います。ありがとうございます！！